

## 川崎重工グループ製品セキュリティ方針

### 1. 基本的な考え方

川崎重工グループ（以下、当社グループ）では、お客様に安心して製品・サービスをご利用いただくために、悪意のある第三者のサイバー攻撃による製品・サービスの誤作動の誘発や情報の改ざんなどを防ぐことを目的に、製品・サービスのサイバーセキュリティ確保に取り組みます。

このために、当社グループの製品・サービスのライフサイクルにおいて守るべき方針を定め、事業活動において適切な運営を行います。

### 2. 目的および適用範囲

当社グループのすべての役員および従業員が事業活動において、製品・サービスのサイバーセキュリティ確保が重要であることを正しく認識し、適切に行動できることを目的とします。

また、当社グループ製品（製品システム、コンポーネント等）やサービスのうち、情報処理機能を搭載するなど、サイバー攻撃を受ける可能性のあるものを適用範囲とします。

### 3. 法令および契約履行義務の遵守

当社グループは、製品・サービスに対するサイバーセキュリティ確保にあたり、関連する法令、規則、その他の規範およびお客様との契約の遵守を徹底します。

### 4. 製品セキュリティ管理体制

当社グループは、製品・サービスのライフサイクル全体におけるサイバーセキュリティ確保に関して組織的かつ継続的な運用を実現するために管理体制の整備を行います。

### 5. 製品セキュリティに留意した製品開発の推進

当社グループは、製品・サービスそのものやその機能、格納している情報、動作環境における安全性などの守るべき資産やそれらに対するサイバー攻撃の可能性を、製品・サービスの企画・開発段階において検討し、脆弱性と呼ばれる「製品・サービスのサイバーセキュリティ上の弱点」が含まれることのないように努めます。

### 6. 製品セキュリティに留意した運用の推進

当社グループは、お客様に提供する製品・サービスを安心してご利用いただくため、製品セキュリティに関する情報を継続的に収集して分析します。当社グループの製品・サービスにサイバーセキュリティ上の問題が発見された際には、関連部門が連携して迅速に対応することで被害を最小限に抑え、その原因を究明し再発防止策を講じます。

また、必要に応じて、関係省庁及び関係機関への速やかな報告を行います。

7. 継続的な情報収集とそれに基づく教育の実施

当社グループは、製品セキュリティに関する専門機関や団体との連携などを通して常に最新情報の収集を行い、関連部門間で共有するとともに、社内教育に活かすことで製品・サービスにおけるサイバーセキュリティ意識の向上を図ります。

制定 2023年8月

以上